

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 3 月 13 日

### 【評価実施概要】

事業所番号	3870700261		
法人名	医療法人 浦岡医院		
事業所名	グループホーム やすらぎの家		
所在地	大洲市西大洲甲525番地		(電話) 0893-24-5855
管理者	下崎 加代		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 21 年 2 月 10 日	評価確定日	平成 21 年 3 月 16 日

【情報提供票より】 (平成 21 年 1 月 1 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 12 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 5 人, 非常勤 11 人, 常勤換算	12.2 人

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	140 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 160 円
	または1日当たり	1,000 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 21 年 1 月 1 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護 1	4 名	要介護 2	3 名
要介護 3	6 名	要介護 4	5 名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 86 歳	最低 75 歳	最高 92 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

のどかな田園地帯に建てられたホームである。ホームは平屋建てで、木材を多く使い温かみがあり、玄関のドアは開け放たれ開放的である。運営は医療法人で、運営者が医師であり、ホームの運営に熱意を持ってあたり、利用者の健康管理や医療対応にも心強いものがある。職員は、各利用者の思いやペースを尊重しながら、日々の暮らしや楽しみごとをのんびりゆったり支援している。ホームは地域の盆踊りや敬老会に参加し、地元の幼稚園児や小学生と行き来する機会があり、中学生の体験学習を受け入れ、近所の方が野菜を届けてくれる等の交流がある。

### 【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
前回の評価後、看取りの指針を作成し、地域との交流を深めるなどの改善に取り組んでいる。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
運営者、管理者、職員は評価の意義を理解したうえで、全職員で自己評価に取り組んでいる。職員は、自己評価が日々のケアの振り返りや確認になるものと捉えている。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
2か月に1回開催している運営推進会議では、ホームの行事、利用者の状況、外部評価、検討事項等を報告し、質問や意見を出してもらっている。会議での意見や情報をサービス向上に活かしている。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
家族の意見や希望は、家族の来訪時、運営推進会議、意見箱等で把握し、運営に反映させている。また、苦情相談窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族に説明している。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
地域の盆踊りや敬老会に参加し、地元の幼稚園や小学校の雑祭りや学芸会に招かれ、園児や小学生がホームを訪れる等の行き来がある。また、中学生の体験学習やボランティアを受け入れ、近所の方が畑を耕してくれたり、野菜を届けてくれる等、地域との交流がある。ホームは地域の清掃等にも参加している。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム やすらぎの家

(ユニット名) A 棟

記入者(管理者)  
氏名 下崎 加代

評価完了日 平成 20 年 12 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 入居者の目線で理念を作り、住み慣れた地域での安心した暮らしが出来るように理念を作り上げている。  (外部評価) 地域の中でその人らしく暮らすことを支える理念である。さらに、職員が話し合い、その理念を具体化したケア理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念に基づいて、ミーティングや申し送りに話し合い、具体的なケアについて意見統一を図っている。  (外部評価) 理念及びケア理念を居間や事務室に掲げ、申し送りやミーティングで話し合うことで、管理者と職員は理念を共有している。ケア理念の「ゆったり」をトイレ誘導、食事や歯磨きの介助等で実践し、「個性を大切に」を、各利用者のペースを尊重する取り組みに活かしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を実施し、理解してもらえよう取り組んでいる。家族には、入居時及び面会時に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に散歩や買い物などに出かけ、近所の人たちと挨拶をしたり声かけをしている。作物の差し入れがあったり畑を耕してもらっている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の盆踊り、敬老会、奉仕活動に参加しています。また、地域の幼稚園、小学校との交流会、中学生の社会福祉体験学習、ボランティア、実習生の受け入れもしています。  (外部評価) 地域の盆踊りや敬老会に参加し、地元の幼稚園や小学校の雑祭や学芸会に招かれ、園児、小学生がホームを訪れる等の行き来がある。また、中学生の体験学習やボランティアを受入れ、近所の方が畑を耕してくれたり、野菜を届けてくれる等、地域との交流がある。ホームは地域の清掃等にも参加している。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を通して、認知症に関して地域の相談を受け付けることができるようにしている。災害時の対応についても話し合っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己外部評価の意義は理解している。外部評価の結果は、ミーティングで報告し前回指摘項目は、改善するよう取り組んでいる。  (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解したうえで、全職員で自己評価を行っている。職員は、自己評価が日々のケアの振り返りになるものと捉えている。前回の評価を活かし、看取りの指針を作成し、地域との交流を深めるなどの改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で、入居者の状況や今取り組んでいる事などを随時報告したり話し合いが出来る。委員の方には郵送している。  (外部評価) 2か月に1回開催の運営推進会議では、ホームの行事、利用者の状況、外部評価、検討事項等を報告し、質問や意見が出されている。議事録をホーム内で公開し、会議での意見や情報をサービス向上に活かしている。地域代表の区長の出席が得られにくく、会議内容がやや固定化している。	※	運営推進会議は地域の理解と支援を得る貴重な機会であり、地域の区長が出席できる時間や会場の検討、代理者の出席等の工夫が望まれる。また、内容について、時には外部評価や認知症の学習会や防災訓練の検討会にするなどの柔軟な会議運営を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 大洲市の開催する会議、研修に参加している。また、地域包括支援センターとも交流を図り質の向上に取り組んでいる。  (外部評価) 市担当者とは、利用者の手続き関係や支援上の相談等で行き来する機会がある。また、市担当課主催の地区会議や研修に参加したり、地域包括支援センターと連携をとり合いながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度の内容については理解できている。研修に参加した上で、ミーティングで職員の理解を深め、必要な場合は活用できる状態である。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待についてスタッフ全員で、話し合い虐待防止に努めている。研修会にも参加し、内容をミーティングの時に伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用契約時、文書などで十分説明を行い理解、納得を得ている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員を2ヶ月に1度派遣してもらい、入居者の相談にのっていただいている。入居者の立場に立った意見を頂き、運営の参考にしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月の請求時に、入居者の暮らしぶり、健康状態を報告している。金銭管理は、個別の出納帳を作り、月末ご家族に確認してサインを頂いている。また、健康状態の異変時には、そのときに連絡を行っている。  (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態は、家族の来訪時に伝え、更に毎月、写真や季刊発行のホーム便りと共に報告している。また、利用者の状況に変化が生じた時は、その都度連絡している。金銭管理は各利用者が出納帳を作り、毎月家族がチェックしている。職員の異動については家族が来訪した際に紹介しているが、徹底が難しい。	※	家族とホームの信頼・協力関係を築くためにも、ホームからの積極的な報告、情報提供が必要である。職員の異動はホーム便りに掲載したり、ホーム内の掲示板でお知らせする等の工夫を期待したい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情、意見箱を設置し内容について確認している。運営推進会議により不満などを表せる機会を設け、不満があれば改善している。  (外部評価) 家族の意見や希望は、家族の来訪時、運営推進会議、意見箱等で把握し、運営に反映させている。また、苦情相談窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のミーティング時話し合う機会を設け、良い提案は反映させるようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 施設長・ホーム長が必要時、勤務調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の移動はスムーズに出来ている。入居者さんが不安にならないように配慮を行っている。  (外部評価) 運営者は、異動や離職を最小限に抑えるよう努力している。日頃からユニット合同で行事を行ったり、利用者や職員の行き来があり、ユニット間の勤務交代による利用者のダメージは少ない。また、離職者と新規採用者が重複勤務をすることで職員異動の影響を少なくするよう配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修には、なるべく多くの職員が受講できるようにしている。また、それらの研修報告は、毎月のミーティングで発表してもらい、研修報告書は全職員が閲覧できるようにしている。  (外部評価) 運営者は、管理者や職員の育成には学習が大切と考え、研修への参加を推進している。外部研修への参加は経費をホームで負担し、参加者は研修後に報告書を提出し、月1回のミーティングで研修内容を報告している。ホーム内では、ミーティングで運営者による講義等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 大洲市の連絡会、グループホーム連絡協議会などが主催する勉強会に出席し、意見交換を行っている。また、行事などで他のグループホームとの交流も行っている。  (外部評価) 市内のグループホームでネットワークを築いており、管理者や職員の相互訪問、勉強会等が実施されている。他ホームの訪問や勉強会で得たことをサービスの質の向上に活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員の業務上の悩み、ストレスを解消する為にいつでも話を聞けるようにしている。また、親睦の場を作り気分転換を図れるよう機会を作っている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 研修などに参加し、レベルアップを目指し前向きに仕事が出来ているか等、職員が働きやすい職場作りに努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前面談で生活状態を把握するように努め、本人が不安に思っている事や求めている事など、話す機会を多く持ちお互いの信頼関係の構築に努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) これまでのご家族の苦労や今までのサービスの利用状況など、これまでの経緯についてゆっくり聞くようにしている。話を聞く事で信頼関係を得るように心がけ求めていることに答えるように努めている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に、本人やご家族の思い状況などの確認し、アセスメント調査を行い、課題を明らかにしてケアサービスに努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人やご家族に見学してもらうことから始め、施設長が自宅に出向くなどをして安心して生活できるよう工夫している。  (外部評価) 入居前に利用者や家族にホームを見学してもらって雰囲気になれるよう配慮したり、管理者が自宅を訪問して顔見知りになる等、馴染みながらのサービス利用ができるよう努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 入居者の思いや根本にある苦しみ、不安、喜びなどを知ること努め、暮らしの中で分かち合い共に支えあえる関係作りが出来るよう努めている。  (外部評価) 職員は、利用者と一緒に世間話、散歩、買い物での外出、近くの喫茶店でお茶、外食、花植え、草ひき、おやつ作り、料理の下ごしらえ等を楽しみながら行っている。利用者から料理法、洗濯物のたたみ方、戦争の話等を教わっている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来訪時に日々の暮らしの出来ことや気づきをご家族に話し、本人と一緒に支えていく関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族に、はがきなどで行事への参加を呼びかけ疎遠にならないようより良い関係が継続できるよう支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人が面会に来やすい雰囲気作りに気をつけている。また、ご家族や友人、知人の方への行事の参加をお願いしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が、個別性や関係性を理解して、強者や弱者が出来ないよう対応している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所されている後、必要な場合は、手紙、電話等で交流を持っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中でゆっくり関わる時間を持ち、声かけ把握に努めている。また、言葉や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。意思疎通の困難な方は、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。  (外部評価) 一人ひとりの思いや希望は、利用者との会話、しぐさ、表情等から把握している。また、家族等からの情報を参考に、利用者の思いを確認しながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) センター式を一部取り入れ、本人、ご家族などより様々な角度から把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 申し送り、ミーティング時に職員間で個々の情報を集約し共有する事で総合的な把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人がより良く暮すために、本人の希望、ご家族の要望を来訪時や電話で聞き、スタッフの要望を聞き毎月一回のカンファレンスを行ってきめ細かなケアプランを作成している。  (外部評価) 利用者ごとに職員の担当者を決め、その職員が中心になって、利用者や家族の思いを反映しながら、職員で話し合って介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の評価を三ヶ月に一回し状態変化や状況に応じ、カンファレンスを行い新たな計画を作成している。  (外部評価) 毎月のカンファレンスで、状況等の変化や気になることがある場合は見直している。変化がなくても、3か月に1回は計画の評価を行い見直すことにしている。新たに作成した計画については家族に説明し、サインを頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 健康チェック表を作り、食事、水分、排泄等の状況を把握したり、何をされたか行動、言動、表情等を記録している。また、病院に受診した場合は、色わけして記録し計画の見直しをしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 通院介助や利用者の要望に応じて、買い物や物療などの外出支援を柔軟に支援している。  (外部評価) 急な受診、突然の外出や外泊、冠婚葬祭、墓参り、家族のホーム内での宿泊等、ホームの多機能性を活かした柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 行事などある際には、ボランティアへの協力を募ったり周辺施設への働きかけを呼びかけている。また、消防署とは、避難訓練を通じて災害時の対応について指導を受けている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用者の状況や希望に応じて、いきつけの理・美容室へ行ったり訪問で散髪の利用サービスなどを利用してもらっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 成年後見制度が必要と思われる入居者に、地域総括支援センターと協力して利用できるように支援している。また、以前利用していた入居者もおられた。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期的な受診、緊急時の対応は、医師である理事長に連絡し指示を頂いたり往診に来て頂いたりしている。  (外部評価) 利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援しており、受診時は職員が付き添うことにしている。また、運営者である医師の往診が週1回行われている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要なときに相談でき、検査、治療を受けてもらえる。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医寮連携の特色を活かし、日々刻々と報告、連絡、相談し、健康管理、医寮活用ともに十分出来ている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、医療機関との協働をしたり、ご家族とも情報交換などしながら早期退院支援をしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) グループホームやすらぎの家の看取りに関する指針を作成し、ご家族、医師、看護師を交えて話し合いを行っている。また、状態の変化があるごとに、ご家族の気持ち、変化や本人の思いを注意を払い支援につなげている。  (外部評価) 重度化や終末期の対応は可能としており、早い時期から利用者や家族に説明している。看取りの指針を作成しており、指針にそって訪問診療、訪問看護、介護支援等、実際的な対応を行っている。経過の中で入院を希望される場合は、その支援もしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人の気持ちを大切にしつつ、ご家族と話し合い入居者が安心して終末期を過ごしていけるように取り組んでいる。急変した場合は、すぐに対応して頂ける医療機関とも密に連携を図り対応している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替え時に、本人のこれまでの生活環境が損なわれないように話し合いや情報交換を行いダメージがないように心がけている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけ対応には、十分配慮している。また、個人情報の取り扱いには、細心の注意を払い漏洩のないようにしている。  (外部評価) 食事の食べこぼしをさりげなく片づけたり、会話の中で指示をしないよう心がける等、利用者の誇りを大切に支援している。また、個人情報保護に留意して記録類は事務室で管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者の思いや希望が表せるような声かけを行ったり、自己決定が出来るように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの状態を思いに配慮しながら、買い物、散歩等に対応している。  (外部評価) 利用者が希望する時には散歩や買い物に同行し、ふらりと一人で出かける方に付き添ってホーム周辺を散歩して来たり、食後にソファで横になる方に毛布をかける等、一人ひとりのペースを大切に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個々の生活習慣に合わせた支援をしている。行事、外出時などに合わせたおしゃれを楽しんでもらえるように支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 盛り付け、片づけを入居者と共に行い、同じテーブルを囲んで楽しく食事できるように雰囲気作りを大切にしている。  (外部評価) 利用者と職員は共に料理の下ごしらえ、盛り付け、後片付け等をしている。一緒に同じ食卓を囲み、同じ食事を楽しみながら味わっている。時にはお弁当を持って外に出かけ、景色や花を眺めながら食事を楽しむこともある。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 職員は、一人ひとりの好きな物を理解しており入居者の様子や時間を見ながらそれらを楽しめるようにしている。また、おやつはなるべく手作りで一緒に作るように心がけ、楽しみが持てるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を使用し、尿意のない入居者にも時間を見計らって誘導することによりトイレで排泄できるように支援している。入居者の状態にあわせて布パンツに尿取りパット併用、紙パンツに尿取りパット併用するなど使い分けしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 希望に沿いながら、身体の状態に合わせた機会を提供し、入居者のペースに合わせた入浴介助を行っている。  (外部評価) 毎日の入浴を希望する利用者には、その希望にそった支援をしている。また、一人ひとりの力量を活かした入浴介助を行っている。介護度が高い利用者のための機械浴の設備もある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の活動、様子、心身状態にあわせて自由に自室で休息して眠れるようにしている。寝付けない時には、温かい飲み物を飲みながらおしゃべりをして安眠策を取っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに声かけして、出来ること出来そうなことの場面づくりをして、洗濯物たたみ、食器洗い、掃除などしてもらい感謝の言葉を伝えるようにしている。  (外部評価) ホーム周辺の散歩、ドラッグストア等での買い物、喫茶店でのお茶、外食、車での遠出、芋掘り、食事の準備や後片付け、洗濯物たたみ、掃除等、一人ひとりに合った楽しみごとや役割の支援をしている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) その人のレベルの応じ、本人にお金を所持してもらっている。買い物に出かけた際、お金を持つ機会を持ってもらい買い物をしてもらう支援をしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 本人の気分、希望の応じて、季節感を感じてもらうように散歩、ドライブ、近くの喫茶店、お弁当を持って戸外に出かけている。  (外部評価) 田んぼの中の道を散歩したり、近くの商店へ買い物に行ったり、喫茶店でお茶をいただいたり、お弁当を持って出かけ景色を眺めながら食事をしたり、ホームの外の敷地内で日向ぼっこをしたり、おやつを食べる等、戸外に出かけられるよう支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 年3回(春夏冬)にマイクロバスを借りて、お弁当を持って戸外に出かける機会をつくっている。ご家族の協力を得ている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご家族、知人からの手紙が届けば読んだりしている。毎年賀状を出す支援をしている。また、本人の希望に応じて電話のやり取りが出来るよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会時間の制限なく、気軽に訪問できる雰囲気づくりを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ベット柵は、最小限必要などころのみ使用している。また、玄関は、自由に出入りできるように開放している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 入居者が、外出しそうな様子を察知しながら止めるのではなくさりげなく声かけをしたり、一緒についていく等安全面に配慮して自由な暮らしを支援している。玄関は、常に開放している。  (外部評価) 運営者及びすべての職員は鍵をかけないケアの意義を理解しており、居室や日中の玄関に鍵はかかっている。日中、玄関はセンサーが設置されているが、ドアが開放されており開放的である。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) スタッフ間で協力し合い、入居者と同じ場所で記録をとりながらさりげなく全員の状況を把握できるよう努めている。夜間は、巡視時物音に注意するなど様子を把握できるようにしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物を使う際には、スタッフが見守ることによって安全を確認している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) その人の状態にあわせて見守り対応している。事故、ひやりハット報告を記録し申し送りミーティング時に状況を分析し、解決などを話し合っている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変、事故発生時に備え研修を受講したり医師、看護師から指導を受けている。消防署の方から、ADEの使い方などの講習を受けている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回入居者と共に避難訓練を行っている。訓練をした後職員と消防署の方と避難方法など話し合っている。  (外部評価) 年2回の防災訓練では夜間想定での訓練を行い、避難方法を検討し、避難経路や避難場所の確認をしている。災害時に地域の協力が得られる仕組みは確立していない。	※	職員だけの誘導の限界をふまえ、近所の方の実際的な協力が得られるよう、運営推進会議等で話し合ったり、一緒に訓練を行う等の取組みを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりの状態のリスクに対して、ご家族と情報交換し理解を得るように話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝バイタルチェックを行い状態の変化をスタッフが把握し変化や異常時には、すぐに医師に報告している。急変に対しても対応できる体制がある。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 毎月担当医師から、情報提供を頂き薬の内容確認し変更があった場合は、連絡ノートでスタッフ同士が確認できるようにしている。内服後の状態観察している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維の多い食材や乳製品を取り入れている。散歩やラジオ体操など身体を動かす機会を設け、自然排便できるようにしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの口腔状態に応じて口腔ケアを行っている。また、自立している方への声かけをしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの食事や水分摂取状況を毎日健康チェック表に記入している。管理栄養士に献立作成してもらい状態に応じて支援をしている。  (外部評価) ホームが依頼した管理栄養士が献立をたてている。食事の摂取量や水分量は都度チェックしている。時間がかかっても自力で食べる方をせかすことなく見守り、偏った食べ方の利用者にはさりげなく食器の位置をずらして介助する等、一人ひとりの状態に応じた支援をしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 医師、保健所からの感染予防、対応の指導を受けている。また、マニュアル作成し感染予防に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日、まな板、布巾など消毒し清潔を心がけている。また、調理前の手洗いも徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関は、開放し安心して出入り出来るようにしている。また、玄関の周りには、季節感のある花や野菜を植えている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居間には、共同作成の作品を飾ったりして季節感を感じながら生活している。また、台所を中央に置き食への関心を持ってもらうようにと工夫している。  (外部評価) ホームは木材を多用した平屋建で、温かみがあり明るい雰囲気がある。居間は畳の間、見やすい時計やカレンダー、観葉植物、家庭的なソファ、テレビ等を配置し、行事の写真、利用者の作品等が飾られ、居心地よく過ごせる空間となっている。浴室やトイレは気になる匂い等もなく清潔感がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにソファ、テレビ、DVD等を置き、思い思いの場所で自由に過ごせるようにしている。また、畳の所にはコタツを置き一人ひとりの居場所が作れるようにしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 今までに使い慣れた家具、日用品、布団等を使って頂き、安心し居心地よく過ごせる場所になっている。  (外部評価) 居室は利用者の使い慣れた小ダンスや衣装ケース、時計、そろばん、位牌等が持ち込まれ、家族写真や利用者の作品等を飾り、心地よく過ごせる部屋となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎朝窓を開け空気を入れ替えを行い、トイレは、換気扇と消臭剤で悪臭が出ないようにしている。温度調節は、入居者に聞きながら対応している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ホーム内では、段差をなくし歩行しやすいように手すり、入居者の状態に合わせた上下可動な洗面台を設置、安全な生活が送れるようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりのわかる力を活かして、見守り支援に心がけ、必要以上の援助はしないように心がけている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ホームの周りにプランター花畑があり、畑には野菜を植え収穫したり、テラスでは日光浴をしたり、散歩をしたりした楽しまれている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入居者の思い願いは、時の流れや体調に変化とともに日々変化しております。また、職員との信頼関係が出来ているかによっても内容の深さも変わってくる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	散歩と一緒にいき、昔の話を聞いたり、昔の歌を歌ったりしてのんびりと過ごされている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフと買い物に行ったり、散歩をしたりして一人ひとりのペースで過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	好きな事、入浴、散歩等を支援したり普段行けないドライブ、喫茶店、地域の夏祭りなどの催しの時の表情は生き生きした表情が見られる。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの体調に配慮しながら、戸外に行きたい所へ出かけるように支援している。ご家族と連携し気軽に外出して頂いている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療連携先の浦岡医院から、毎週火曜日に医師、看護師が来られている。状況急変に対しても即座に対応できる体制をとっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	可能な限り柔軟な支援を心がけているが、症状や健康状態により希望に添えない場合がある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	入所時、面会時、電話をかけた時などに、ご家族と話し合う機会を作っている。信頼関係が取れるよう心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	ホームの周りの畑で野菜収穫をしていると、近所の方が通りかかりに話されたり、隣の畑から野菜を頂いたりしている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域開催の行事に参加を行い、歌、踊り等の演奏披露に来て頂くようになり、理解者や支援者が徐々に増えている。
98	職員は、生き生きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者、ご家族、職員同士の関係も良好でありそれぞれの目的を持ち生き生きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全員の要望に応えられてはいないが、入居者が落ち着いて過ごされ笑顔を見ておおむね満足して頂いていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ご家族への報、連、相は極力頻繁に行い、請求時に広報、写真を同封して喜んでもらっていると思う。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 医寮連携先である浦岡医院より、毎週火曜日に医師、看護師来て頂き入居者の健康状態を把握して頂いている。又、毎週来て頂くことにより健康面で不安を抱えている方も安心して過ごして頂く環境にある。
- ・ 毎日の献立を、栄養バランスを考えて管理栄養士さんが提供している。
- ・ 日々の生活の中で「自己決定」して頂く事を大切にしている。



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム やすらぎの家

(ユニット名) B 棟

記入者(管理者)  
氏名 久保田 ゆきみ

評価完了日 平成 20 年 12 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 入居者の今までの生活を大切にし、その人らしい暮らしが出来るよう明示している。また、具体的にケア理念も明示している。  (外部評価) 地域の中でその人らしく暮らすことを支える理念である。さらに、職員が話し合い、その理念を具体化したケア理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念に基づいた具体的な支援のあり方について、ミーティングなどで話し合いを行い取り組んでいる。  (外部評価) 理念及びケア理念を居間や事務室に掲げ、申し送りやミーティングで話し合うことで、管理者と職員は理念を共有している。ケア理念の「ゆったり」をトイレ誘導、食事や歯磨きの介助等で実践し、「個性を大切に」を、各利用者のペースを尊重する取り組みに活かしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を2ヶ月に1回行い、理解して頂くよう取り組んでいる。家族には、入所時に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時やフェンス越しに近所の方はもちろん歩かされている方とのあいさつや、立ち話など声かけしている。畑を耕したり、畑で取れた野菜を持って来て下さる方もいる。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事、奉仕活動、幼稚園児・小学校との交流会、ボランティア・実習生・中学生の社会福祉体験学習の受け入れなどしている。  (外部評価) 地域の盆踊りや敬老会に参加し、地元の幼稚園や小学校の雛祭りや学芸会に招かれ、園児、小学生がホームを訪れる等の行き来がある。また、中学生の体験学習やボランティアを受入れ、近所の方が畑を耕してくれたり、野菜を届けてくれる等、地域との交流がある。ホームは地域の清掃等にも参加している。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を通して、認知症に関して相談を受け付けることができるようにしている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己、外部評価の意義を理解し、指摘項目は改善するように取り組んでいる。  (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解したうえで、全職員で自己評価を行っている。職員は、自己評価が日々のケアの振り返りになるものと捉えている。前回の評価を活かし、看取りの指針を作成し、地域との交流を深めるなどの改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で、入居者の状況や今取り組んでいることを報告したり話し合いができています。議事録は、職員、入居者が閲覧でき、委員、家族の方には郵送しています。  (外部評価) 2か月に1回開催の運営推進会議では、ホームの行事、利用者の状況、外部評価、検討事項等を報告し、質問や意見が出されています。議事録をホーム内で公開し、会議での意見や情報をサービス向上に活かしている。地域代表の区長の出席が得られにくく、会議内容がやや固定化している。	※	運営推進会議は地域の理解と支援を得る貴重な機会であり、地域の区長が出席できる時間や会場の検討、代理者の出席等の工夫が望まれる。また、内容について、時には外部評価や認知症の学習会や防災訓練の検討会にするなどの柔軟な会議運営を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 大洲市が開催する会議や研修に参加し、質の向上に努めている。  (外部評価) 市担当者とは、利用者の手続き関係や支援上の相談等で行き来する機会がある。また、市担当課主催の地区会議や研修に参加したり、地域包括支援センターと連携をとり合いながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加し、ミーティング等で職員の理解を深めるように努めている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止の研修に参加しミーティング等で話し合い、虐待防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 説明は十分に行い、理解、納得して頂くように努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 入居者から話しやすい雰囲気作りを大切にしている。不満・苦情があれば苦情箱、苦情窓口申し出て頂き、その都度対応できるようにしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時、または体調に変化等あれば、その都度電話で報告している。請求時に写真を同封している。  (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態は、家族の来訪時に伝え、更に毎月、写真や季刊発行のホーム便りと共に報告している。また、利用者の状況に変化が生じた時は、その都度連絡している。金銭管理は各利用者の出納帳を作り、毎月家族がチェックしている。職員の異動については家族が来訪した際に紹介しているが、徹底が難しい。	※	家族とホームの信頼・協力関係を築くためにも、ホームからの積極的な報告、情報提供が必要である。職員の異動はホーム便りに掲載したり、ホーム内の掲示板でお知らせする等の工夫を期待したい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議、面会時などに不満等を表せる機会を設け、あれば改善している。  (外部評価) 家族の意見や希望は、家族の来訪時、運営推進会議、意見箱等で把握し、運営に反映させている。また、苦情相談窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月一回のミーティング、申し送り時に話し合う機会を作り、良い提案は反映させるようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 施設長、ホーム長が必要時、勤務調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の移動はスムーズに行い、入居者が不安にならないよう配慮している。  (外部評価) 運営者は、異動や離職を最小限に抑えるよう努力している。日頃からユニット合同で行事を行ったり、利用者や職員の行き来があり、ユニット間の勤務交代による利用者のダメージは少ない。また、離職者と新規採用者が重複勤務をすることで職員異動の影響を少なくするよう配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修を受ける機会を確保し、研修受講者には、研修の報告、説明を行ってもらっている。  (外部評価) 運営者は、管理者や職員の育成には学習が大切と考え、研修への参加を推進している。外部研修への参加は経費をホームで負担し、参加者は研修後に報告書を提出し、月1回のミーティングで研修内容を報告している。ホーム内では、ミーティングで運営者による講義等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 他のグループホームの運営推進会議に出席し行事の際に交流を持ったり、相好評価事業に参加し質の向上に努めている。  (外部評価) 市内のグループホームでネットワークを築いており、管理者や職員の相互訪問、勉強会等が実施されている。他ホームの訪問や勉強会で得たことをサービスの質の向上に活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員がストレスをためないよう月一回のミーティングに、コーヒープレイクを取り入れたり、年に数回は、親睦会を行っている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 研修に参加し、レベルアップを目指し前向きに仕事が出るよう努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人が不安に思っていることなど打ち明けやすい環境作り、話す機会を持つように努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 不安に思われていることを、受容し応えられるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) アセスメントを行い、本人、ご家族の希望を大切にし情報を集めながら、課題を明らかにして支援している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人がより良く暮していけるように皆で探りながら、徐々に馴染めるように場の雰囲気作りを大切にしている。  (外部評価) 入居前に利用者や家族にホームを見学してもらって雰囲気に慣れるよう配慮したり、管理者が自宅を訪問して顔見知りになる等、馴染みながらのサービス利用ができるよう努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の性格、心身の状態など把握して「何を求めているのか」伝えたいことをしっかり受けとめ支えあう関係が築けるように努めている。  (外部評価) 職員は、利用者と一緒に世間話、散歩、買い物での外出、近くの喫茶店でのお茶、外食、花植え、草ひき、おやつ作り、料理の下ごしらえ等を楽しみながら行っている。利用者から料理法、洗濯物のたたみ方、戦争の話等を教わっている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 運営推進会議、行事などを通じ、本人を共に支えられるように心がけている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族に行事などへの参加を呼びかけより良い関係が築いていけるように支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの方が来やすい雰囲気作り、地域行事に参加したり、関係が途切れないように努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が、利用者同士の関係を把握し、間に入って関わりあえるように対応している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去された後も、必要な場合は、手紙や電話などで交流を持っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個々の状態を探り、本人がどのような気持ちで何を求めているのか、本人の視点に立ち返って把握に努めている。  (外部評価) 一人ひとりの思いや希望は、利用者との会話、しぐさ、表情等から把握している。また、家族等からの情報を参考に、利用者の思いを確認しながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人、ご家族より暮らしの情報を収集し、これまでの暮らしの把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ミーティングや申し送りの時に、個々の情報を職員間で共有できるように努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人、ご家族の意向を、ミーティングやカンファレンスを実施し、意見交換を行い個々のケアプランを作成している。  (外部評価) 利用者ごとに職員の担当者を決め、その職員が中心になって、利用者や家族の思いを反映しながら、職員で話し合って介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 各担当者が、入居者の変化に応じ、見直しを行うと共に、本人、ご家族、必要な関係者と話し合い計画を作成している。  (外部評価) 毎月のカンファレンスで、状況等の変化や気になることがある場合は見直している。変化がなくても、3か月に1回は計画の評価を行い見直すことにしている。新たに作成した計画については家族に説明し、サインを頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ミーティングや申し送り時に、職員間で情報を共有し必要な時は計画を見直しも行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 医療法人ということもあり、必要時には、吸引の使用方法の勉強会を行ったり柔軟に対応している。  (外部評価) 急な受診、突然の外出や外泊、冠婚葬祭、墓参り、家族のホーム内での宿泊等、ホームの多機能性を活かした柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 学校や地域ボランティアと、協力しながら入居者との交流を持っている。消防署とは、避難訓練を通じて災害時の対応について指導を受けている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人やご家族からの要望はないが、要望があれば対応を行う。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 連絡会などでの交流はあるので、必要時には連携し協働していく。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、ご家族の希望を大切にし、定期的な受診をしている。医師である理事長が週に一回お往診に来られている。 <hr/> (外部評価) 利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援しており、受診時は職員が付き添うことにしている。また、運営者である医師の往診が週1回行われている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要時にいつでも相談でき、検査、治療も受けてもらえる。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医寮連携の特色を活かし、日々報告、連絡、相談し、日常の健康管理、医寮活用十分に出来ている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 連携病院、他の病院とも情報交換を密にし連携している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 主治医、本人、ご家族と話し合い、職員全員で方針を共有している。 <hr/> (外部評価) 重度化や終末期の対応は可能としており、早い時期から利用者や家族に説明している。看取りの指針を作成しており、指針にそって訪問診療、訪問看護、介護支援等、実際的な対応を行っている。経過の中で入院を希望される場合は、その支援もしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 出来ること、出来ないことを見極め、医療機関、ご家族と共にチームとしての支援に取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 転居時も、情報提供書を送り、情報交換を十分に行いダメージ防止に努めている。		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシー確保のため、言葉かけ、対応に配慮し、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っている。  (外部評価) 食事の食べこぼしをさりげなく片づけたり、会話の中で指示をしないよう心がける等、利用者の誇りを大切に支援している。また、個人情報保護に留意して記録類は事務室で管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 自己決定できる方には、本人にして頂き、出来ない方には、自己決定できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々のペースに合わせ、その人らしい暮らしが継続できるように希望を取り入れながら支援している。  (外部評価) 利用者が希望する時には散歩や買い物に同行し、ふらりと一人で行く方につき添ってホーム周辺を散歩して来たり、食後にソファで横になる方に毛布をかける等、一人ひとりのペースを大切に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着替えなど出来るだけ本人に選んで頂き、理美容は、本人の希望を聞いていくように努めている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事、おやつが楽しみになれるよう、入居者、職員と一緒に準備や片付けなどを行っている。  (外部評価) 利用者と職員は共に料理の下ごしらえ、盛り付け、後片付け等をしている。一緒に同じ食卓を囲み、同じ食事を楽しみながら味わっている。時にはお弁当を持って外に出かけ、景色や花を眺めながら食事を楽しむこともある。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人が望む飲み物、おやつなど日常的に楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 気持ちよく排泄が出来るよう排泄パターンを把握し、必要であれば声かけをしたり支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の希望に沿いながら、個々の健康状態に合わせ入浴を楽しめるように支援している。  (外部評価) 毎日の入浴を希望する利用者には、その希望にそった支援をしている。また、一人ひとりの力量を活かした入浴介助を行っている。介護度が高い利用者のための機械浴の設備もある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 本人のその時々状況、心身状態に合わせて休憩したり安眠できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 玄関を開放し、いつでも散歩や気晴らしが出来るようにしている。裁縫が得意な方には、道具を提供したり生活歴を活かした役割が持てるよう支援している。  (外部評価) ホーム周辺の散歩、ドラッグストア等での買い物、喫茶店でのお茶、外食、車での遠出、芋掘り、食事の準備や後片付け、洗濯物たたみ、掃除等、一人ひとりに合った楽しみごとや役割の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人のレベルの応じお金を所持してもらっている。買い物に出かけた際に、お金を持つ機会を持ち使えるように支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気の良い日など外で日向ぼっこしたり、散歩に誘ったりして希望に沿って戸外に出かけられるよう支援している。  (外部評価) 田んぼの中の道を散歩したり、近くの商店へ買い物に行ったり、喫茶店でお茶をいただいたり、お弁当を持って出かけ景色を眺めながら食事をしたり、ホームの外の敷地内で日向ぼっこをしたり、おやつを食べる等、戸外に出かけられるよう支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 本人の希望を聞き、買い物や喫茶店に行くなど出かけられる機会を作っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご家族や、大切な人からの手紙が届けば読んだり、必要であれば代筆したりしている。また本人自らが電話をしたりやり取りが出来るように支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会に来られた方と入居者が、楽しくのんびりと過ごされるように支援している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関を開放し、いつでも外出できるという開放感を持って頂くように見守りをしている。ベットの柵も最小限必要な所にのみ使用している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関を開放し玄関に出られた方には、さりげなく付き添い散歩等同行するようにしている。  (外部評価) 運営者及びすべての職員は鍵をかけないケアの意義を理解しており、居室や日中の玄関に鍵はかかっている。日中、玄関はセンサーが設置されているが、ドアが開け放たれており開放的である。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) スタッフ間で協力し、所在確認をするようにしている。夜間は、巡視時に物音に注意するなど様子を把握するようにしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物を使用するときは、スタッフが見守り安全を確認している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) その人の状態に合わせた対応をケアプランに詳しく入れたり、事故、ひやりはっと報告書に記入し、申し送りや話し合いのときに状況分析、解決策を話し合っている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 連絡網を整備し、急変や事故発生時に備え研修受講したり、医師、看護師からの指導を受けている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に避難訓練を行い、スタッフ間、消防署の方と避難方法など話し合っている。  (外部評価) 年2回の防災訓練では夜間想定での訓練を行い、避難方法を検討し、避難経路や避難場所の確認をしている。災害時に地域の協力が得られる仕組みは確立していない。	※	職員だけの誘導の限界をふまえ、近所の方の実際的な協力が得られるよう、運営推進会議等で話し合ったり、一緒に訓練を行う等の取組みを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりに起こり得るリスクについて、面会時などにご家族と情報交換し理解を得るよう話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックを行い、状態に変化をスタッフが把握し異常時はすぐに医師に報告している。急変に対しても対応できる体制がある。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の内容が分かるよう毎月医師からの情報提供を頂き変更があった場合申し送りノートで、スタッフ同士が確認できるようにしている。内服後の状態観察もしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事やおやつ有的时候に、食物繊維を摂取できるようにしたり、散歩や体操、レクレーション等で体を動かすなど便秘予防に取り組んでいる。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じ口腔ケアを行っている。自立している人への声かけも行い、清潔保持に努めている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの水分量、食事量を確保できるよう管理栄養士が献立作成し、状態に応じた支援を行っている。  (外部評価) ホームが依頼した管理栄養士が献立をたてている。食事の摂取量や水分量はその都度チェックしている。時間がかかっても自力で食べる方をせかすことなく見守り、偏った食べ方の利用者にはさりげなく食器の位置をずらして介助する等、一人ひとりの状態に応じた支援をしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 医師や保健所からの感染予防、対応の指導があり、マニュアル作成し感染予防に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日調理用具等の消毒を行い清潔を保てるよう衛生管理に努めている。調理前の手洗いも徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 安心して出入りできるよう玄関周りには、季節感ある花を植えたり飾ったりして、玄関も開放している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 天窓により自然な光が入るようにし、不快な音、匂いなどが出ないように配慮している。  (外部評価) ホームは木材を多用した平屋建で、温かみがあり明るい雰囲気がある。居間は畳の間、見やすい時計やカレンダー、観葉植物、家庭的なソファ、テレビ等を配置し、行事の写真、利用者の作品等が飾られ、居心地よく過ごせる空間となっている。浴室やトイレは気になる匂い等もなく清潔感がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングのソファや、畳の間のコタツにて快適な時間を過ごせるようにしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人やご家族と相談し使い慣れたものを持ち込んで頂き、1人ひとり自室でも安心して過ごして頂くよう環境作りを支援している。  (外部評価) 居室は利用者の使い慣れた小ダンスや衣装ケース、時計、そろばん、位牌等が持ち込まれ、家族写真や利用者の作品等を飾り、心地よく過ごせる部屋となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日換気を行い、入居者の状態に応じて温度調整をこまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの体形にあわせることができる可動式の洗面台や手すりなどを利用し安全な生活ができるようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの力を把握し、見守り支援を心がけている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 散歩や交流の場として、花を植えたり畑には野菜を作ったり活かしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入居者の毎日の言葉や行動、表情などを観察し意向を掴めるよう努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後やおやつ時には、一緒にお茶を飲みながら話をしたり歌を聞いたり歌ったりしてゆったり過ごせる時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれ自由にしたい事を(時間場所に関係なく)出来るよう無理じいせず支援している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ドライブ、外食、買い物などの外出の支援などで笑顔や”またいこうや”と言葉をかけていただける。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩はもちろん、近くの売店へ買い物の支援、入居者の行きたい所へいつでも出かけるよう支援し、ご家族とも連携し気軽に外出して頂いている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療連携先の浦岡医院より、毎週火曜日に医師、看護師が来られる。急変の場合でも対応できる体制をとっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	可能な限り状況や要望に応じた柔軟な支援を心がけている。(例：急な歯科受診、気分転換の外出など)
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	入居時、面会時、連絡時などに話し合う機会をつくり信頼関係が密に取れるよう心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	ホーム周りを散歩していると通りがかりに声をかけて頂き話をして行かれたり、野菜を頂いたり畑をついでに耕して下さる方もいる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の方達が、大正琴、三味線、ギターの演奏や踊りなどをしに来られるようになったり、地域行事に誘って頂けるようになった。
98	職員は、活き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力し合い向上心を持って働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔や会話が弾む事でおおむね満足して頂いていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ご家族へは、体調の連絡、報告、相談を度々行っている。面会などの記録のメッセージには、感謝の言葉を頂いているので満足した頂いていると思う。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・医療連携先である浦岡医院より毎週火曜日に医師、看護師に来て頂き、入居者の健康状態を把握した頂いている。また、毎週来て頂くことにより、健康面で不安を抱えている方も安心して過ごした頂く環境にある。
- ・入居者の方の食べたい物旬の物を取り入れ、管理栄養士が献立を提供している。
- ・日々の生活の中で「自己決定」して頂く事を大切にしている。